



情報通信産業

Information Communication Technology

業界団体 / システム開発 / フリーエンジニア / Web制作 / プログラム教育 / ソフトウェア・テスト

こどもたちのこえ。

情報通信産業は大事な産業だとおもった。今後社会に欠かせない仕事だとおもった。/ いろいろなテクノロジーで生活が豊かになると聞いてイメージがすごく変わった。/ コロナで店が開かなくなって、それでホームページを作れて宣伝できていいなと思った面白そうだった。/ IT業界に入ってみたいと思いました。(沢崎小) パソコンにずっと向き合っている仕事かと思っていたが、とても楽しそうだった。/ 品質のテストを行うことで、人の役に立つと知った。/ IT業界は理系の人だけでなく文系の人もたくさん活躍していると知った。(兼城中) / 最初はプログラミングなど機械を動かしていると思っていたが、その背景にはいろいろな人がたくさんいてできていると知ってとてもすごい仕事だと思った。(読谷中) / コンピューターを作ってみたくなった。/ 情報通信産業どんな人が向いているかと質問して、「一つのことにあきない人」と聞いてびっくりした。(兼城小) ずっと黙ってパソコンを動かしているイメージから、アイデアを出し合って作っていく楽しいイメージにかわった。(首里中) / 情報教諭新産業ずっとパソコンで人とかかわりはあまりないし、どこでITが使われているかわからなかったけれど、いろいろなところで使われているし人とかかわりもあるしとても良い職業だと思いました(小瀬南小) / 「夢のある未来をつくる仕事」というイメージを持った。/ ITのおかげで今の自分たちが生活できている。(神森小) / ITスキルを持っていれば後は努力次第で誰でもできるけど楽しい仕事だと知りました。(浦添小) / IT企業は全然関係なさそうだと思っていたけど意外と身近にあることがわかった。(那覇中) / 授業の前は、ITは自分には無理だと思っていたけど、山川さんの話を聞いて、頑張ったら自分にもできそうと思った。/ IT業界で働きたいと思った。(潮平中) / プログラミングは難しそうと思っていたけど、簡単なところから始めて、仕事にもできるということがわかった。(西崎中) /

想像を超える未来を切り開け！ 田舎も離島も関係ない、世界を変える産業

まだまだ変わる業界は、大きな可能性に満ちている。

多くの講師が、世界を大きく変えたITの歴史と、これからの社会がどうなるのかについて語りました。情報通信産業はその変革の中心であり、仕事を通じて自分自身が世界を変えていけることを、多くの講師が語りました。また、ほとんどの仕事が、さまざまな職種、立場、異なる業種の人々との協業なので、パソコンだけでなくあらゆる教科の学びと、コミュニケーション能力が必要であることも、全ての講師に共通した内容でした。

「難しそう」という理由で敬遠されることの多い業界ではありますが、プログラム教育に携わる講師から、実際に小学生が作ったゲームを披露され、そのプログラム内容を紹介することで、「自分でもできそう」という感想を聞くことができました。また、かつて突然の難病を発



症し、現在半身不随の技術者の職業人講話では、大きな障害を背負っても、ITなら仕事を続けることができる、同様の困難を抱えた方々に伝えていきたいという抱負が語られ、情報通信産業が、働き方そのものの多様性も広げる可能性も示されました。

実施事例 01

世界初から70年で2兆倍の性能に、 コンピュータはまだまだ世界を変える。

柴崎 貴史 氏

財) 沖縄ITイノベーション戦略センター (ISCO)
浦添市立沢崎小学校

沖縄ITイノベーション戦略センターは、沖縄県の外郭団体で、IT産業の振興を主な目的としています。柴崎氏はその中で、「Resortech (リゾートテック)」というリゾート(観光)とITを結びつける事業の仕事をしています。

コンピュータは、幅30m、高さ2.4m、奥行き0.9m、総重量27トンという巨大なものから始まり、パソコン、スマホに至って、性能は2兆倍になり、電力が3万分の一になったことを説明。そのパワーが、わずか数十年で世界を大きく変えてきたと紹介しました。いまや、コンピュータなしでは社会が機能しない時代になりました。これからも、コンピュータはまだまだ世界を変えていきます。



そこで、AIや電気自動車や自動運転の普及によって、どんな良いことが起きるかを子どもたちと考えました。

これからはITを学ぶことは必須になる、しっかり学んで素敵な未来をつくってくださいとメッセージを送りました。

実施事例 02

社会を変える側に立つ！ ITだからこそコミュニケーションは重要。

大城 周児 氏

ユーマーク株式会社 副社長 / ETロボコン沖縄地区実行委員長
糸満市兼城小、同兼城中、同光洋小、八重瀬町立東風平中、読谷村読谷中、浦添市沢崎小

大城氏はソフトウェア・テストというジャンルの会社の副社長。東京の大学卒業後、県内外のIT企業に勤務の後に信頼できる仲間たちと県内で起業。ITが社会を大きく変えること、そこに自分の能力を活かせるチャンスがあることを一貫して感じてきました。今後、世界はまだまだ変わります。その変革を担うのがITのエンジニアであることを語りました。

現在は、昔からの友人とともに、ソフトウェアの品質向上を目的とした検証業務などを行なうユーマーク社を起業。ソフトウェアも、作って作りっぱなしでなく、第三者がテストして、品質を保証することが求められていることを説明しました。



また、「シゴトと勉強」として、小学校の各科目がどのように仕事に役立っていくのかを説明。「小中学校で学ぶことは社会で生き抜いていくために必要な知識。IT業界も、コミュニケーション力も大切なので、授業もクラブ活動も全力で取り組んでほしい」と伝えました。

業界解説

情報通信産業を知ろう！

業界解説シート



情報通信産業は沖縄の主要産業のひとつ。まだまだ成長分野です。大きく「ハード」「ソフト」「サービス」の3分野に別れます。「ハード」はパソコンやスマホを作る機器メーカー、インターネットをつなげる電話・携帯会社など。「ソフト」はプログラムを作るシステム開発会社など。「サービス」は、検索や地図などのWebサービス、スマホアプリ、CG・ゲームを提供する会社や、企業のホームページを作るWeb制作などが含まれます。また、IT技術者は、IT業界以外のほとんど業界で活躍できます。

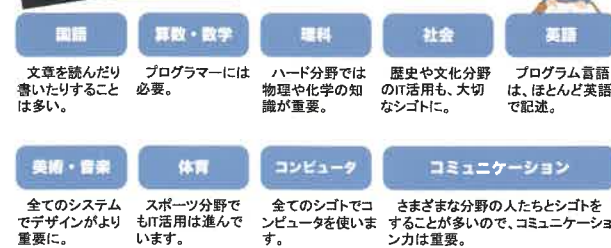
いまのシゴト

- 沖縄の主要産業のひとつ。
- コロナの影響が少。在宅・離島でもシゴトができる。
- 独立起業しやすい。
- 全てのシゴトに関係。土木、小売店、スポーツも。
- 本土の下請け体質から抜けきれていない。

未来のシゴト

- いまだ無い機械やサービスが生まれている。
- すべての職場にIT担当がいるようになる。
- AIや大量のデータを扱うシゴトに大きなニーズ。
- プログラムも自動化し、作業がより簡単に。
- 人とコンピュータの橋渡しをするシゴトはより重要に

シゴトと勉強 学校の勉強とシゴトはいろいろな関係しています。



実施回数	23回
講師数	7名
講師	岩村琢・大城周児・大森洋介・久保田昌人・柴崎貴史・宮城雄作・山川朝教(敬称略・50音順)
協力団体	財) 沖縄ITイノベーション戦略センター / 一社) 沖縄県情報産業協会※

アンケート集計

情報通信産業のイメージは、講話前の好評価が60.3%から92.4%に向上しました。また「普通」評価が33.7%から7.1%に大幅に減りました。知る機会があれば、興味もてる産業であるといえます。事前に「難しそう」と感じていたものが「簡単なことから始められる」ことが理解できた、縁遠いと思っていたが「意外に身近にある」などが理解できたようです。



※ご協力いただきましたが、講師派遣には至りませんでした。